

数学の本？

国越 健司

まっ白なキャンヴァースに、最初の一笔をおろす緊張と興奮——しかし、それにもまして柔らかで、澄んでいて、限らない可能性に満ちた子供の心。それが、はじめて出会う数学の本は、いったいどんなものでしょう？ 早く百まで数えられるようになる本でもなければ、数字を覚える本でも、たし算やひき算の説明書でもありません。それは、不思議と出会う本。考える楽しさが、美しさや驚きと一つになって、胸がわくわくする本です。

子供達は、楽しい気分を受け取る名人です。そんな気分を伝えるためには、まずあなたが充分楽しんである必要があります。ご紹介するものが、実は大人の本なのは、そういうわけです。食べられるものを、最初は、かみくだいて与えるのです。同時に、それらは、あなた御自身が楽しい本を見つけるためのヒントでいっぱいです。

洋書をいくつか選びました。入手がさほど難しくなく、あまり高くもなく、絵本なので言葉の煩わし

さもなく、何よりも、きりりとした姿勢と、一生なつかしく思い出せる読後の満足感があるからです。東京で扱っている店を少しあげます。店頭にない時、注文して3か月位で届きます。洋書を扱っている店の多くは、注文を受けてくれます。

- ・紀伊国屋新宿本店 (Tel 〇三三三五四〇一三二)
- ・イエナ書店 (Tel 〇三三三七七一二九八〇)

少しでも多くの本をあげたいので、解説は控え目にします。まず、

- 1、「遊びの博物誌」
- 2、「新・遊びの博物誌」
- 3、「イメージの回廊」
- 4、「Play Puzzle」
- 5、「Play Puzzle Part 2」
- 6、「Play Puzzle Part 3」

以上、坂根巖夫著 朝日新聞社

以上、高木茂男著 平凡社

古今東西の、おもちゃ、パズル、ゲーム、遊び、本、などを紹介した、見て楽しいガイドブック。1、2の巻末に、おもちゃ等の入手先のリスト、6にパズルの集め方。多くの資料。絶好の入門書。

- 7、「なぞなぞの本」
福音館書店編集部編 福音館書店
- 8、「考える練習をしよう」
M・バーンズ著 左京久代訳 晶文社

二つの全く対照的な考える楽しさあふれる本。7は、日本を含め、世界各国から集めた五二四のなぞなぞ。簡素で詩的な、香り高い一冊。8は、いかにもアメリカ的な、行動的で工夫がいつぱいの、とにかく楽しい本。

- 9、The most amazing Hide-and-Seek Alphabet Book
- 10、The most amazing Hide-and-Seek Counting

Book

なかえよしを作 ポプラ社

10' R. Crowther, Kestrel Books / The Viking Press.

14' 「まほうのもり」
村田道紀作 偕成社

11' Haunted House

15' The Magic Moving Picture Book

J. Pienkowski, William Heinemann Ltd.

Blis, Sands & Co., Dover Publications Inc.

12' ALICE'S ADVENTURES IN WONDERLAND

16' The Magic Moving Alphabet
Moore, Dover Publications Inc.

J. Thorne, Macmillan Publishers, Ltd.

17' 「魔法使いのあいいうえお」

みんな、とびだす絵本。9は、A B C D…の文字

安野光雅・雅一郎作 童話社

のかげから、動物が出て来ます。10は、続編で、百

18' 「光の旅・かげの旅」

まで数える本。この二つ程素敵な本は、他に知りま

アン・ジョナス著 評論社

せん。同じシリーズに反対ことばの本もあります。

11は「おぼけ屋敷」という邦訳もあり、「森の小人

13は、昔からある立体映画（ドラエモンにもあり
ました。）と同じで、赤と青のメガネで見ると、絵

ノーム」と共に、日本でも親しまれています。12は

がとびだして見える3-D（3次元）絵本。福音館
の「星の本」も同様で、星座が美しい本でした。14

「不思議の国のアリス」の、テニエルの絵にもとづ

は、赤いメガネで見ると、絵が変わる本。たしか

いた美しい本です。

「ふしぎなうみ」という続編もありました。15は、

13' 「とびだせ！ねずみくん」

九十年程前に出た本の復刻版で、細い平行線のたく

さん入った透明な板を絵にのせて少し動かすと、絵が動いて見えるモワレ効果の絵本。テレビやビデオのない時の、みごとに知恵。16は、その姉妹編で、同じ様にするとABC順にいろんな絵が動きをもつて現れるもの。17は、得体の知れない模様を、開いたページの中央に立てたアルミ箔をまいたジュース等の空き缶に写すと、正しい絵や文字が出て来る、いわゆる、ゆがみ絵または、さや絵。18は、最後まで読んだら本をさかさにして、最後から初めのページへ読み進む。同じ絵が、ひっくり返すと違う絵に見えます。

19、「母と子の影絵遊び」

一木喬著 日東書院

20、「日本の絵かきうた」

永田栄一著 音楽の友社

21、「おかしな道具のカタログ」

J・カレルマン著 パルコ出版

22、「絵本 ことばあそび」

五味太郎著 岩崎書店

23、「土屋耕一のガラクタ箱」

土屋耕一著 誠文堂新光社

19は、折り紙、あやとり等と共に、昔から伝わる身近な遊び、手影絵の本。切りぬき影絵の解説もあります。20は、〃ぼうが一本あったとき おなべかな……〃と唄いながらコックさんの絵が描ける。そんなのがいっぱい集められて、楽譜もあります。ここではあげられませんが、数多く出版されている奇術の本のおもしろさ。単純なものが、子供達には好きです。21は、ありそうもない物のカタログ。常識やぶりの発想転換の本。22は、最も身近な「ことば」で遊ぶ本。五部作の一つですが、他のもみんな冴えています。23は、さらに進んで、ことばのプロが書いた迫力あふれる「ことば」の本。ぼうしのコマージュルを考えると、ところが特に印象的。土屋耕一さんは、全部回文、(さかさから読んでも同じにな

る文)でできた「軽い気敏な仔猫何匹いるか」(この書名も、もちろん回文)という正方形の本も著わっています。

24、「M・C・エッシャー 数学的魔術の世界」

岩成達也訳 河出書房新社

25、「はじめてであう すうがくの絵本」

安野光雅作 福音館書店

24は、超現実的なだまし絵、はめ絵、無限分割など、家元エッシャーの自選画集。25は、その名のとおり。大人も楽しめる数学絵本。

すてきな本は、まだまだあります。しかし困ったことに、あまりすてきでない本は、その何倍も氾濫しています。大きな書店を歩きまわって、楽しい発見をたくさんなさってはいかがでしょう。

小さな子どもにとって数学は遊び、身のまわりのものすべて、生活そのもの。一番大切な事は、好奇

心をもって、よく見る事と、考える楽しさを味わう事。はずむ心を伝える為に、大人は、たくさん(口では言わない)ことを知っていなければならぬ。与える何倍も読む事が欠かせません。そうでない大人達が18歳になったら誰でも自然にできる事を「教える」と称して、子供をいじめています。好奇心、自発性という、今最も大事な芽を台無しにしています。どうか「教え」ないでください。楽しんでだけでも、子供達はしあわせで、可能性の芽は大きく花開く時のために生き続けているのですから。

最後に、十代の時読んでから、今まで忘れられない二つの文章を引用させて頂きます。

第一は、惜しくも今年この世を去った今世紀最大の物理学者の一人ファインマンが、奇跡的とも思える名著「ファインマン物理学」の中で、ギボンズの言葉を引用して、

「教育というものは、教育などしないでもいいという幸福な事態でない限り、大した効果のないもの

なのである。」

第二は、芥川龍之介がその作品「酒虫」の中で、人のいいなりになって、炎天下素裸で、細引きで手足をぐるぐる巻きにされて、仰向けに寝ころんでいる男をさして、

「はなはだ、迂闊なように思われるが、普通の人間が、学校の教育などを受けるのも、実は大抵、これと同じようなことをしているのである。」

(桐朋学園大学)

津守 房江著

『育てるものの日常』

(婦人の友社)

いま、子どもと生きる日々が輝く

一章 子どもと生きる日常の中で

小さな出来事の連なり・無期限を生きる・悲しみの心にふれて・保育の冒険

・いのちのひろがり 他

二章 母親たちとの対話の中で

はじめの発見・父親の育児・きょう

だいのぶつかり合いの中で・育児に手
おくれはない 他